

八重山教育情報

第15号

発行：沖縄県教職員組合
八重山支部
石垣市登野城7-2
官公労共済会館2階
TEL: (0980) 82-3264
E-mail: otu-y@cosmos.ne.jp

教育委員会へ要請

三月十五日、竹富町教育委員会と石垣市教育委員会へ交渉に行きました。委員長、副委員長、書記長の三名で皆さんからいただいた署名を手にしました。

慶田盛教育長、江川教育長と学校現場の多忙化の解消はどうしたらよいか意見交換しました。また、生徒指導カルテは個人的には必要がないが、生徒のよさを残すようなものができないか検討中とのことです。全国学力テストについては、各学校（校長）が実施したいということでは、各学校実施になつたいきさつを話してくださいました。両教育長ともに「点数ではなく子どもたちの自主性を伸ばし、子どもとふれあう時間を増やしてほしい」ということを話していました。

今後教育について意見交換をしながら八重山の教育の発展に努力していくことを確認し要請を終えました。



次年度書記局体制

支部財政上、次年度4月から専従をおきません。5月の定期大会にて詳細は説明します。

支障をきたす場合が出てくると思いますが、皆さんのご協力で乗り切りたいと思います。

2012年からは、公務員制度も改革され、組織率50%以上でなければ、交渉もできない危機的状況です。50%を超えるには八重山支部としては100名以上の新規加入が求められます。

このままでは、労働条件・人事異動・賃金等行政の言いなりになってしまうことが予想されます。1人が1人を加入させるよう、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

4月からは臨時採用の先生方も加入できますので、周りの先生方に一声かけて加入を呼びかけてください。(町職、市職の方も対象です。)

臨採部誕生！ 臨時の先生方へ 組合に入って一緒に やりましょう！

ROKUW

クルマ選びと
同じくらい
こだわりたい。
ろうきんの自動車ローンとの出会い！
ドライブの楽しさもグレードアップ。

やっぱり頼みたいのは、ろうきん。
貸付利率が低く、返済のしやすさ、
貸付額が大きい、返済期間が長い、
返済のしやすさ、返済のしやすさ、返済のしやすさ。

自動車ローン

ご協力に感謝！

二〇〇九年度、新執行部体制になり、手探り状態の中の始まりでした。組合員をはじめ皆さんのご協力、ご支援のもと各種行事を含め一年間を無事終えることができました。執行委員一同大変感謝しています。

今年度も残り数日となりましたが、署名・アンケートなどの取り組みを最後までよくお願いします。執行部では次年度に向けての準備も進めています。今後とも皆さんのご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

ソウル
魂において頑固
マインド
心において柔軟
スピリット
精神において活発

連合分会の大切さを再確認!!

「西表連合分会三十周年記念プロジェクト」総務 池村 久美

終日上原航路が出る波の穏やかな(ラッキー!)しかし二月にしては、ちょっと汗ばむくらいの陽気の中、「西表連合分会三十周年記念祝賀会及び教研集会」が二月十一日、ごちんまりとしかし、盛大に行われました。初代委員長の浦崎永二さん、三代宮國恵慈さん、八代下地史彦さん、十、十一代内原勲さん地元ですと私たちを見守って下さっている仲村貞子さん、当時、連合分会を盛り上げて下さっていた金嶺一彦さん、現本部書記長 鈴木光次郎さん、転勤後も何度も西表教研に講師として来て下さっている里井洋一さん、日教組教文局次長 豊福明子さん、沖教組中央執行委員長の山本隆司さん、竹富町長 川満栄長さんとそうそうたるメンバーが上原多目的集会施設に集結しました。

今回は、歴代の方たちの当時の話を聞いて明日の連合分会の糧にするという教研でもありませんが、本当にその通り、その頃の熱い想いや現会員への期待がしっかりと伝わってくるスピーチばかりでした。

浦崎さんは、当時は選挙、斗争に走り回った。連帯を強めるため、組織の確立を図り定例研を始めた。地域と連携もとっていた。前年に北岸道路が完成して、「西表はひとつ」が合言葉だった。学校陸上競技大会開



催のため(今も続いています)、教委に向いて補助金を獲得したこと等を話して下さいました。そして、当時決めた「我が島の子どもたちに誇りと広い視野を」のテーマが今でも続いていることを喜んでくださいました。

宮國さんは、主任制斗争の話の後、続けて発展させていることの大事さ、数の問題じゃない核がしっかりといていけばよいと励ましてくださり、「乾杯」をハイモ二力で奏でてくださいました。

仲村さんの「たった十七人でここまでやってくれてありがとう。よくがんばったね。」にはホロリと涙もこぼれました。

昔、鳩間で研修をした時水が貴重で洗面器一杯の水で体を洗ったけれど、とても充実していたという話等をしてくださいました。

内原勲さんの「オルグ活動を自信を持ってやりなさい」の言葉もうれしいものでした。

全員の話を書き寄せられなくてごめんなさい。でも、みなさんの話から、現会員一同、勇気をもらい、めげずにやっていこうと気持ち新たにすることができました。

東部の舞踊「ウミンシユ」西部のバンド演奏「島人の宝」(Bokal 嘉手川里史!)もなかなか好評!また、途中の席替えで自己紹介しあい、世代を超えた合コン気分での和気あいあいとは進みました。

記念誌もできあがりしました。約五十人の元会員のメッセージや当時の写真、教育情報や教文便り等の資料等も掲載し、手前味噌ですがなかなかよいものができたと喜んでいきます。また、参加して下さいましたみなさんの様子からも「三十周年記念プロジェクト企画してよかったー。やってよかったー。」と心から安堵している次第です。

厳しい状況がこれからも続いていくのかわかりませんが、私たち連合分会、先輩方の思いを引き継ぎ、温かいまなざしを思い出しながら、今後がんばります!



これからも西表連合分会をよろしく!